



中学生が先生役のスマホ教室（埴生中学校）

埴生中学校では、生徒が地域の方にスマホの使い方を教える教室が初めて開催されました。昼休みに、生徒が地域の方を一人ずつ担当して、学校から保護者へ緊急連絡する際の通信アプリの登録の仕方等について、やさしく丁寧に教えたり質問にも分かりやすく答えたりしていました。受講者からは、「一人だったら無理です。使えるようになってうれしい」「参加してよかった」などの感想が聞かれました。それを聞いた生徒は、役に立てたことでとてもうれしそうな様子でした。好評だったので8月にも行われる予定です。



学校教育目標について熟議（厚狭小学校）

厚狭小学校の学校教育目標は、設定されてから十数年たち見直す必要があることから、校長先生の『チーム厚狭』で学校教育目標をつくるという方針のもと、どんな学校にしたいかを子どもや保護者、教職員に尋ねたアンケートの結果をもとに、学校運営協議会委員と6年生の代表児童が協議しました。子どもたちは、現在の学校生活から考えた大切なことを熱心に説明しました。大人からは、人が生きていく上で大事なことなどが提案されました。今後、話し合いを煮詰めて学校教育目標が決定されることになります。



家庭科の学校支援ボランティア（高千帆小学校）

高千帆小学校区の女性会のボランティアの皆さんが、家庭科のナップザックづくりの支援のために、来校してくださいました。ナップザックの口あきと口あきどまり、出し入れ口のミシンかけと手縫いを教えていただきました。子どもたちからの「先生」「ヘルプミー」の声に対して、ボランティアさんは、「この線に沿って縫えばいいよ」「返し縫をした？」「もう少し長い方がいいよ」などと優しく応じておられました。子どもたちは、「やったあ。できたっ」と完成したナップザックを見て満足気でした。

